



しよろ 学 園

開 校／平成30年4月1日

所在地／白糠町西庶路学園通 1 丁目 1 番地

TEL (01547)5-8255 FAX 5-8257

学校長／大 西 展 史

教 頭／新 井 伸 也

教 頭／荒 井 玲 子

◆学校の教育目標

- 自ら考え行動する子
- 他を思いやり共に成長する子
- 心身共にたくましい子

《15歳の子ども像》

「進むべき道を自ら描き、仲間と関わりながら努力を続ける人」

◆特色ある教育活動

① 白糠に誇りを持たせる「ふるさとキャリア教育」の推進

白糠町の教育の基軸である「ふるさと教育」を推進し、子供たち一人ひとりが社会的・職業的自立に向けて必要な基軸となる資質・能力を育成する。そのために、町内の様々な素材を教材に取り上げるとともに、地域の人材を有効活用しながら学習を進め、地域に誇りや愛着心、帰属感を持った児童生徒を育てる。また、社会で生き抜く力を育てるためのキャリア教育（汎用的能力も含む）を意識した教育課程を推進する。

② 9年間の成長を見据えた一貫性のある指導

各種スタンダードや系統表、指導計画の見直しに取り組み、児童生徒の9年間、全教職員が共同歩調で一貫した教育を行い、実効性のある指導を行う。

③ 保護者・地域とともにある学校づくり

学校と保護者や地域の方々がともに知恵を出し合う「学校運営協議会」の設置を通して、協働しながら子供たちの豊かな成長を支え、保護者・地域とともにある学校づくり（コミュニティ・スクール）を進める。

④ きめ細かく専門的な教科指導の充実

4－3－2制の中期（中等部）から原則として教科担任制を導入する他、習熟度別指導やティーム・ティーチングの実施など、きめ細かで専門的な指導の充実を図る。

⑤ 世界での活躍を目指す外国語教育・情報教育の充実

小学校1年生段階から外国語教育（英語・中国語＝ECタイム）を実施し、世界に通用するコミュニケーション能力の育成を目指す。子供たちの理解を促すためにICT機器を取り入れた指導を積極的に行うとともに、1人1台タブレットの有効活用を通して、情報活用能力（情報モラルを含む）の育成を図る。また、プログラミング教育を各教科、総合的な学習の時間を中心に実施し、情報教育を積極的に推進する。

⑥ 異年齢集団との意図的・計画的な交流

7歳から15歳までの児童生徒が1つの空間で学ぶことに加え、校舎には認定こども園（庶路こども園）が併設されていることから、園児との交流やブロック間交流、学年間交流など、異年齢集団で学ぶ場を意図的・計画的に設定し、交流の場を充実させ、体験を通して他とのコミュニケーション能力を育成する。

⑦ 万が一の事態に備えた防災教育の充実

校舎が地域の防災拠点となることを踏まえ、児童生徒には系統的な防災教育を行うとともに、7年生において、地域との協働による防災宿泊訓練を実施する。また、教職員は、災害時の対応をはじめ、危機管理意識の向上（避難施設になった場合の対応訓練を含む）に係る研修を行う。



「飛翔の丘」に建つ庶路学園



飛翔の集会（9年生卒業論文発表会）



地域の方々の御協力のもと実施した
短距離走・新体カテスト記録会